



2023年9月7日

会社名 窪田製薬ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長、社長兼最高経営責任者
窪田 良
コード番号 4596 東証グロース
問合せ先 広報・IR部
(TEL : 03-6550-8928 (代表))

メガネのいらない世界をつくる「クボタメガネ」
中国医薬大学新竹附設医院との共同研究契約締結のお知らせ

窪田製薬ホールディングス株式会社(本社：東京都港区、以下「当社」)は、当社の100%子会社のクボタビジョン・インク(本社：米国ワシントン州)が開発する当社独自のアクティブステイミュレーション技術を用いたウェアラブル近視デバイス「クボタメガネ」において、中国医薬大学新竹附設医院と前向き介入試験のための共同研究契約を締結したことをお知らせいたします。

本臨床試験は、インシャン・チェン博士による主導のもと実施される前向き介入研究です。近視の小児を対象に、低濃度アトロピン点眼薬0.01%投与群とクボタメガネ着用群のそれぞれの有効性と、併用療法との相乗効果の可能性を評価します。チェン博士は、近視の研究と治療における世界的なリーダーであり、中国医薬大学新竹附設医院では眼科部長を務めています。

本件について、チェン博士は次のようにコメントしています。

「進行性の近視による視覚障害は、個人だけでなく社会全体にとって大きな負担になっています。これまでも進行性近視の患者さんを治療するために、常に新しく効果的な治療方法を模索してきましたが、今回、クボタメガネテクノロジーを検証できることを嬉しく思っています。」

“Progressive myopia poses a heavy burden to individuals and society as a whole. I am always seeking new and effective ways to treat progressive myopic patients, so I am excited to work with Kubota Vision to evaluate Kubota Glass technology.”

本件について、当社の代表取締役会長、社長兼最高経営責任者の窪田良博士は次のようにコメントしています。

「最近の研究では、低濃度アトロピン0.01点眼薬単剤療法による効果は、一部では限定的であることが示されており*^{1, 2}、特殊な眼鏡を使った光学的技術を併用した治療法を評価すべきだと提案されています。*³世界の第



一戦で近視研究を進めるチェン博士と一緒に研究ができることを非常に心強く感じています。世界的に増加している近視を撲滅するという共通の目標を掲げ、クボタメガネテクノロジーに関するエビデンスをさらに充実させるべく、臨床試験を進めてまいります。」

*¹ Zadnik K, Schulman E, Flitcroft I, et al. Efficacy and Safety of 0.01% and 0.02% Atropine for the Treatment of Pediatric Myopia Progression Over 3 Years: A Randomized Clinical Trial. JAMA Ophthalmol. 2023 Jun 1:e232097. <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC10236322/>

*² Repka MX, Weise KK, Chandler DL, et al. Low-Dose 0.01% Atropine Eye Drops vs Placebo for Myopia Control: A Randomized Clinical Trial . JAMA Ophthalmol. Published online July 13, 2023. <https://jamanetwork.com/journals/jamaophthalmology/article-abstract/2807117>

*³ <https://www.nih.gov/news-events/news-releases/low-dose-atropine-eyedrops-no-better-placebo-slowng-myopia-progression#>

クボタメガネテクノロジーについて

アクティブステミュレーションという、網膜に人工的な光刺激を与えて近視の進行抑制、治療を目指す当社独自の技術です。近視により後方に伸展した網膜の周辺部に、当社独自の映像を投影することで、対象眼と比較して、眼軸長の短縮が確認されました。これは、すでに FDA(米国食品医薬品局)にも認められた製品の理論的根拠である「myopic defocus」という網膜の周辺部をぼかすことにより、近視が抑制されるという現象を応用しており、さらに従来製品が受動的な刺激を用いていたのに対して、当社では、ナノテクノロジーを駆使して能動的に特殊な映像を投影することにより、より短い時間で、より自然な見え方を維持して、高い効果を実現するべく開発を進めております。

窪田製薬ホールディングス株式会社について

当社は、世界中で眼疾患に悩む皆さまの視力維持と回復に貢献することを目的に、イノベーションをさまざまな医薬品・医療機器の開発及び実用化に繋げる眼科医療ソリューション・カンパニーです。当社 100%子会社のクボタビジョン・インク（米国）が研究開発の拠点となり、革新的な治療薬・医療技術の探索及び開発に取り組んでいます。現在は、ウェアラブル近視デバイス「クボタメガネ」および、在宅・遠隔医療分野（モバイルヘルス）における医療モニタリングデバイス（PBOS）などの医療機器開発に注力しております。

（ホームページアドレス：<https://www.kubotaholdings.co.jp>）

免責事項

本資料は関係情報の開示のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得または売付けの勧誘または



申込みを構成するものではありません。本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。また本資料の作成にあたり、当社に入手可能な第三者情報に依拠しておりますが、かかる第三者情報の実際の正確性および完全性について、当社が表明・保証するものではありません。当社は、本資料の記述に依拠したことにより生じる損害について一切の責任を負いません。本資料の情報は、事前の通知なく変更される可能性があります。本資料には将来予想に関する見通し情報が含まれます。これらの記述は、現在の見込、予測およびリスクを伴う想定(一般的な経済状況および業界または市場の状況を含みますがこれらに限定されません)に基づいており、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今後、新たな情報、将来の事象の発生またはその他いかなる理由があっても、当社は本資料の将来に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。